

蚊の対策はお早めに

蚊は、「デング熱」「ジカウイルス感染症」など多くの病気を媒介します。
自分の身を守る方法は、なんといっても「蚊に刺されない」こと。
日ごろから蚊に刺されない対策をとることを習慣にしましょう。

1 蚊の発生を抑えましょう

水たまりをなくし、
風通しをよくして、
蚊の住みにくい環境をつくる

2 蚊から身を守りましょう

網戸や蚊帳で、蚊の侵入を防ぐ
屋外では肌の露出を少なくする
蚊の多いところでは忌避剤を使う



殺虫剤による駆除は、その場限りの対策であり、蚊の発生を抑えるものではありません。やむを得ず殺虫剤を使うときは、使用方法・注意事項を守り、必要最小限の量の散布としてください。

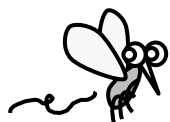
むやみに殺虫剤を散布することは、環境を汚染するだけでなく、人やペットの健康にも悪影響を与えます。



蚊媒介感染症とは…

ウイルスを持った蚊に刺されることで感染する感染症で、広く流行している熱帯、亜熱帯ではめずらしい病気ではありません。患者の血を吸った蚊がさらに他のヒトを刺すことで感染が広がっていきます。

すべての蚊が病原体ウイルスを持っているわけではないので、蚊に刺されたというだけで心配する必要はありません。蚊に刺されてから2日～15日程度で症状が出たときには、早めに医療機関を受診しましょう。



蚊媒介感染症の主な症状は？

発熱、頭痛、筋肉痛、皮ふの発疹などが主な症状です。感染しても発症しないこともあります。ごくまれに重症化することもあります。通常は1週間程度で回復します。

神戸市保健所

東部衛生監視事務所(東灘・灘・中央区)	078-232-4651
西部衛生監視事務所(兵庫・長田・須磨区)	078-579-2660
北衛生監視事務所(北区)	078-593-3250
垂水衛生監視事務所(垂水区)	078-708-6230
西衛生監視事務所(西区)	078-929-0550

今日からできる、蚊の対策

殺虫剤は
いりません！

整理整頓して水がたまる場所をなくす



鉢植えの受け皿の水はこまめに捨てる



※どうしても水をためる必要があるときは、フタをして、こまめに取り替えましょう

雨水マスを掃除して、防虫網を張り付ける

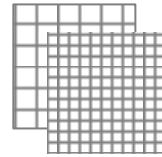


防虫網は網戸用として市販されています
蚊が入り出す穴に直接取り付けるか、ワイヤーネットなどに
接着したものを設置しましょう(グルーガンなどで接着できます)



←フタの裏に直接接着

ワイヤーネットに接着→



ご近所で一緒に取り組むと
劇的に蚊が減ります！

側溝にたまった土砂や落ち葉、空き缶等を掃除する



枝葉はこまめに剪定する



蚊が飛び始めるように
なる前に、家の周りを
点検しておきましょう！

蚊は、空き缶にたまった雨水などの、小さな水たまりに
好んで卵を産み、約2週間かけてボウフラから成虫になり、
約1か月生存します

成虫は、葉の裏や、じめじめとしたところにひそんでいます

神戸市ホームページもご覧ください

神戸市 蚊

検索